

# 2020年サラリーマンアンケート調査結果

2020.6.30

愛媛銀行 ひめぎん情報センター

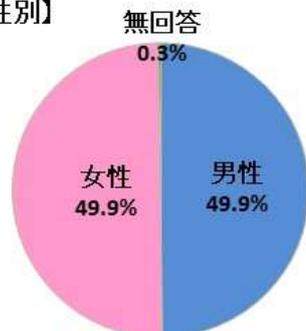
【調査対象】愛媛県内在住のサラリーマン 840 人（公務員含む） 【有効回答率】 43.7% (367 人)

【調査時期】2020 年 5 月中旬～下旬

【調査方法】愛媛県内支店等にてお客様に配布、無記名、郵送返却（一部 Web での回答も含む）

-----回答者の属性-----

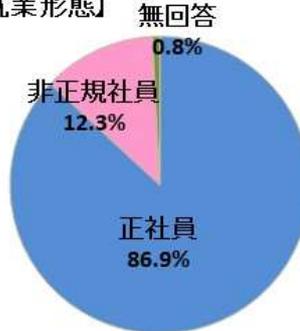
【性別】



【未既婚別】



【就業形態】



【平均年齢】

39.4 歳

【平均年収】

全体 563.7 万円

未婚 323.1 万円

既婚（世帯収入）

694.8 万円

## 1. 小遣いについて

### ①月々の小遣い

平均 **4.9 万円**（前回比±0 円） 未婚 6.9 万円（同▲3,000 円） 既婚 3.7 万円（同±0 円）

### ②1 年前と比べた小遣い額の増減

「増えた」 6.0% 「変化なし」 85.8% 「減った」 8.2%

「増えた」理由・・・「働き始めた」、「収入の増加」、「昇給」、「副業」など

「減った」理由・・・「子どもの教育費」、「結婚」、「転職」、「生活費増」、「収入の減少」、「残業代の減少」、など

### ③主な小遣いの使い道（複数回答）

	第1位	第2位	第3位
全体	食事・喫茶 55.9%	趣味・娯楽費 53.1%	飲み代 40.1%
未婚	趣味・娯楽費 65.9%	食事・喫茶 62.0%	衣服代 46.5%
既婚	食事・喫茶 53.1%	趣味・娯楽費 46.5%	飲み代 41.2%
男性	食事・喫茶 60.1%	趣味・娯楽費 57.9%	飲み代 54.1%
女性	美容関連 59.0%	衣服代 56.8%	食事・喫茶 51.9%

全体では「食事・喫茶」が最も多く、半数以上。

「飲み代」は全体で前回調査より 6.9 ポイント減少。未婚者（40.3%）、既婚者（41.2%）においても前回より減少（未婚者：前回比▲12.1 ポイント、既婚者：同▲3.2 ポイント）。

未婚者は「趣味・娯楽費」が前回より 14.2 ポイント増加し、第3位から第1位へ。

男性は「飲み代」が前回より 9.5 ポイント減少し、第1位から第3位へ。

女性は「美容関連」が前回より 6.7 ポイント増加し、第3位から第1位へ。

## 2. 昼食について

### ①昼食内容

	全体	未婚	既婚
自宅から持参した弁当	45.8%	52.7%	41.7%
コンビニ等で購入	17.2%	18.6%	16.2%
弁当と外食との半々	8.7%	7.8%	9.2%
自宅で食べる	6.8%	3.1%	9.2%
仕出し・宅配弁当	4.4%	3.9%	4.4%
喫茶店・食堂	3.8%	2.3%	4.8%
社内食堂	3.0%	4.7%	2.2%
昼食抜き	8.7%	6.2%	10.1%
1 日当たりの平均昼食代	502 円	471 円	515 円

全体では「自宅から持参した弁当」が最も多く、45.8%（前回比+9.2 ポイント）。「喫茶店・食堂」が前回より 4.8 ポイント減少。

1 日当たりの平均昼食代は全体で 502 円（前回比▲36 円）。

### 3. マネー管理

#### ①現在の金融資産額（預金・株式・投信など）

	全 体	未 婚	既 婚（世帯合計）
平均金融資産額	529.8万円	328.1万円	645.5万円

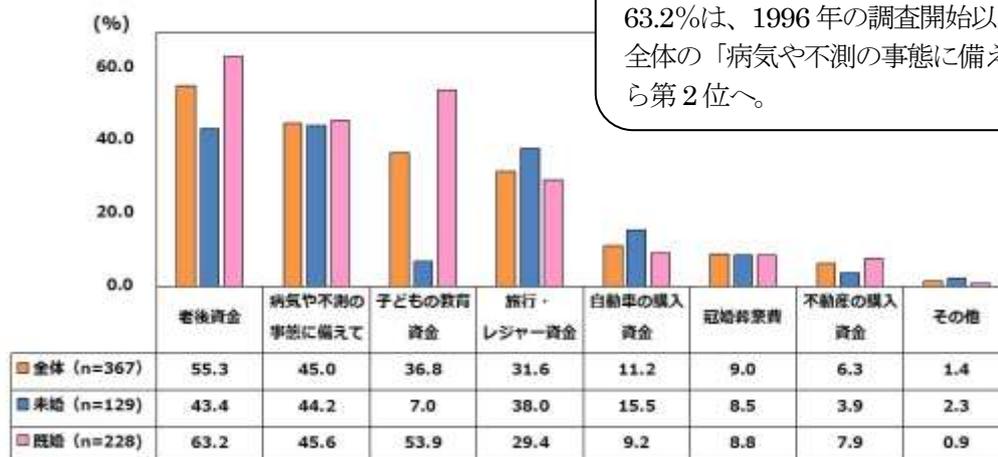
#### ②1年前と比べた金融資産額の増減

「増えた」 27.5% 「変化なし」 56.4% 「減った」 16.1%

「増えた」理由・・・「定期的な貯金（積立）」、「収入増」、「結婚したため」など

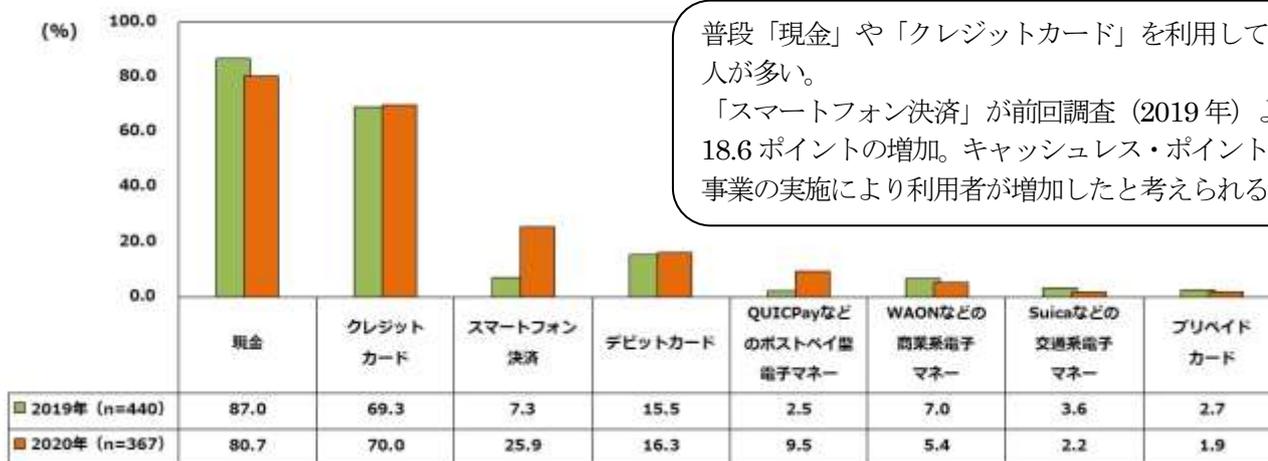
「減った」理由・・・「子どもの教育費」、「支出増」、「車の購入」、「住宅関連（購入・リフォーム）」など

#### ③貯蓄の目的（複数回答）



第1位の「老後資金」は未婚者（前回比+9.6ポイント）・既婚者（同+8.6ポイント）ともに増加し、既婚者の63.2%は、1996年の調査開始以来、過去最高の割合。全体の「病気や不測の事態に備えて」が前回第3位から第2位へ。

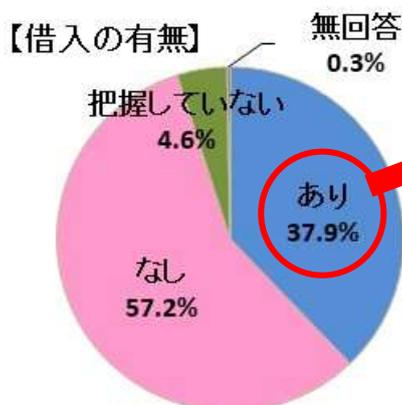
#### ④日頃の買い物、飲食店、旅行先などで利用している決済手段（複数回答）



普段「現金」や「クレジットカード」を利用している人が多い。  
「スマートフォン決済」が前回調査（2019年）より18.6ポイントの増加。キャッシュレス・ポイント還元事業の実施により利用者が増加したと考えられる。

### 4. ローンについて

#### ①ローンの有無とローン残高



平均ローン残高 1118.3万円

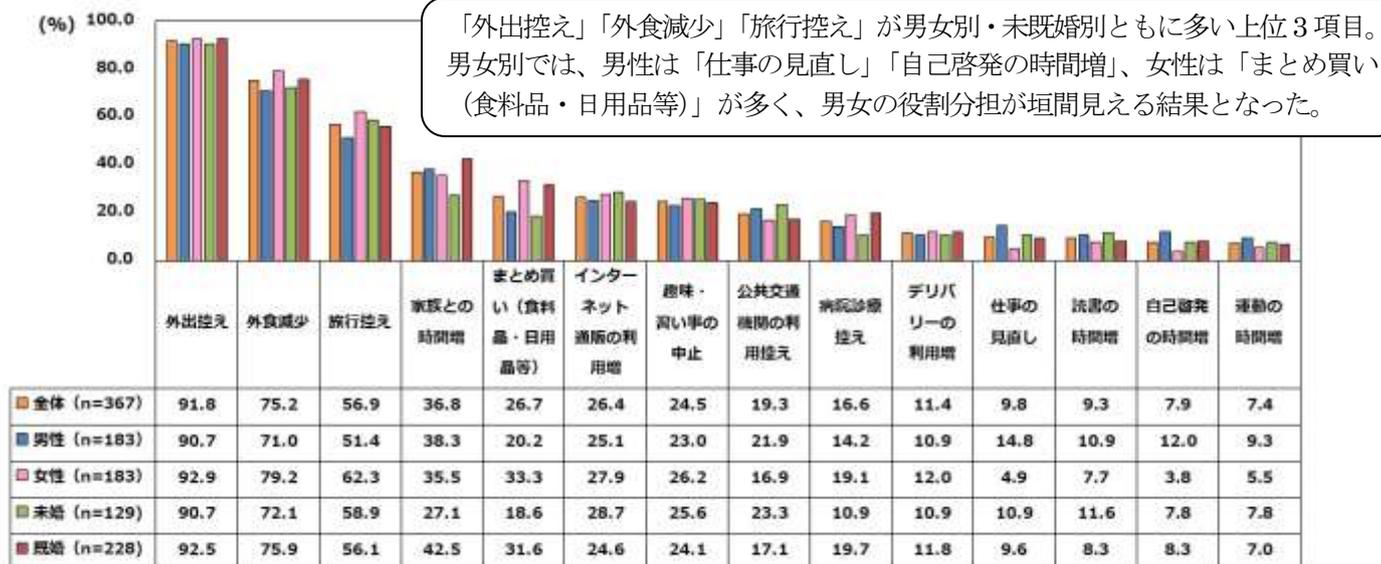
#### ②ローンの内容（複数回答）

「住宅ローン」 63.3%  
「自動車ローン」 20.9%  
「カードローン」 9.3%  
「教育ローン」 8.6%

2016年以降、借入がある人の割合は減少傾向にあったが、今回は前回調査より4.3ポイント増加の37.9%。

## 5. 新型コロナウイルスによる影響について

### ①新型コロナウイルスの流行がきっかけで変化したこと（複数回答）



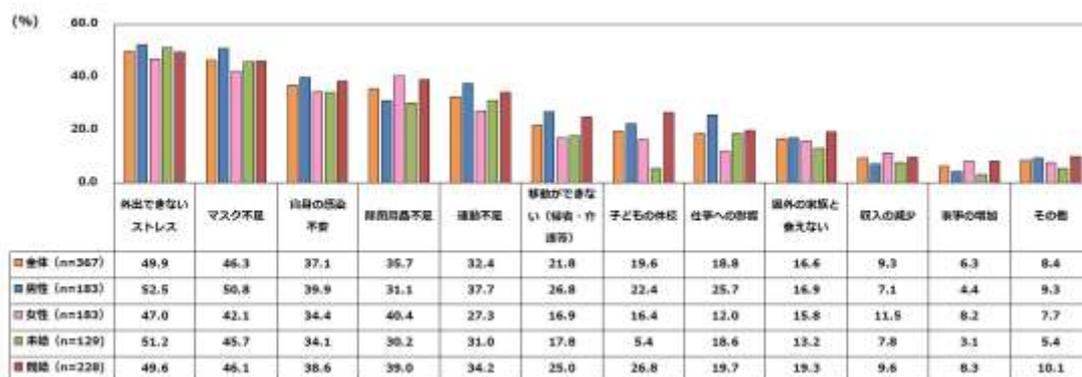
### ②新型コロナウイルスの影響により消費が増えた・減った費目（複数回答）

	増えた費目			減った費目		
	第1位	第2位	第3位	第1位	第2位	第3位
全体	食料品 61.9%	日用品 28.6%	酒類 18.8%	外食 68.9%	旅行 49.0%	ガソリン代 48.0%
未婚	食料品 53.5%	日用品 20.9%	酒類 17.1%	外食 64.3%	交際費 50.4%	旅行 47.3%
既婚	食料品 66.2%	日用品 32.9%	酒類 20.2%	外食 71.9%	ガソリン代 51.8%	旅行 50.0%
男性	食料品 59.6%	日用品 28.4%	酒類 22.4%	外食 70.5%	ガソリン代 53.6%	旅行 50.3%
女性	食料品 63.9%	日用品 29.0%	酒類 15.3%	外食 67.2%	旅行 48.1%	交際費 44.8%

未既婚別、男女ともに増えた費目の上位3項目は同じ。

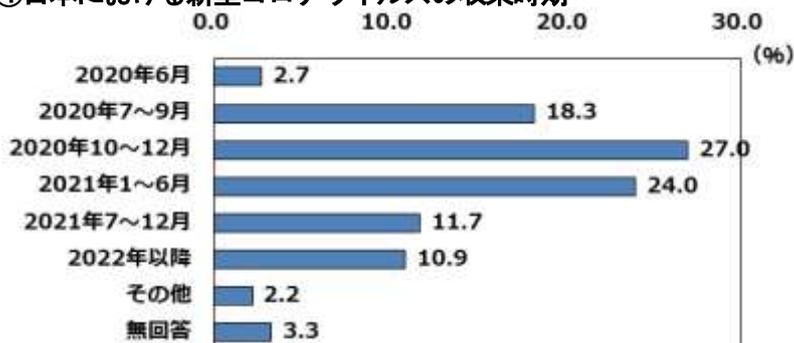
減った費目の上位3項目は、全体では「外食」、「旅行」、「ガソリン代」。既婚者や男性は「ガソリン代」が半数以上、未婚者や女性は「交際費」が多く、未既婚別、男女別でわずかな違いがみられた。

### ③新型コロナウイルスの影響で困ったこと（複数回答）



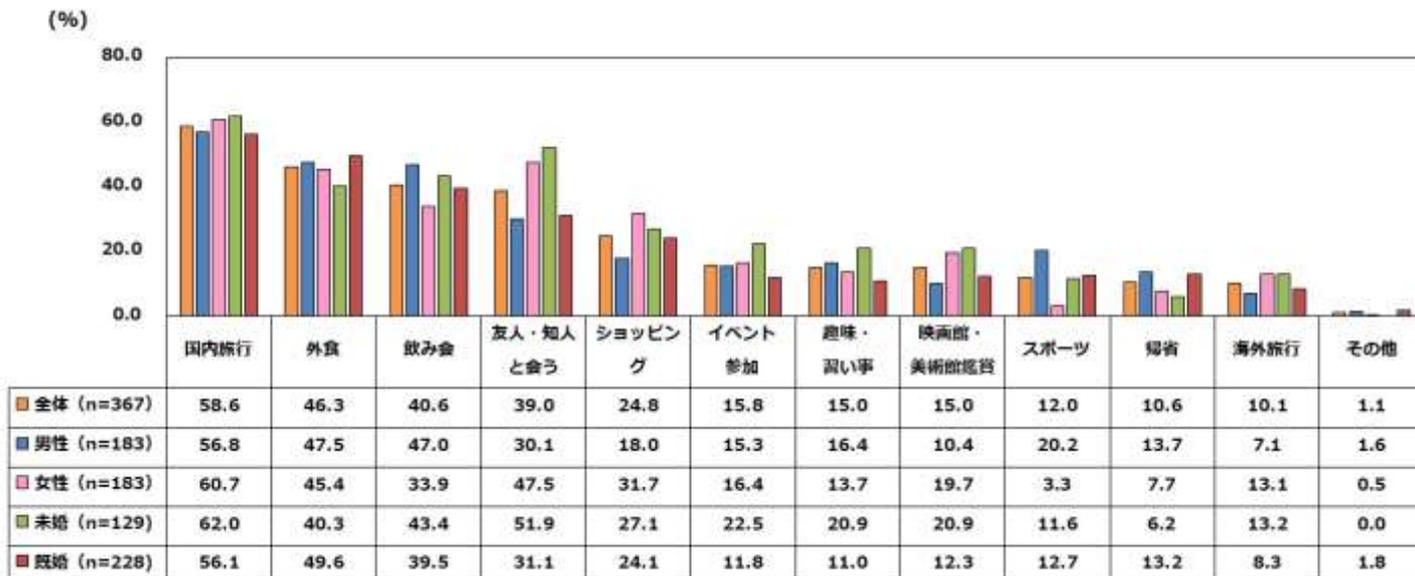
男女別、未既婚別ともに最も多かったのが「外出できないストレス」。  
男女別では、「仕事への影響」「運動不足」は男性のほうが多く、「除菌用品不足」「収入の減少」「家事の増加」は女性のほうが多かった。

### ④日本における新型コロナウイルスの収束時期



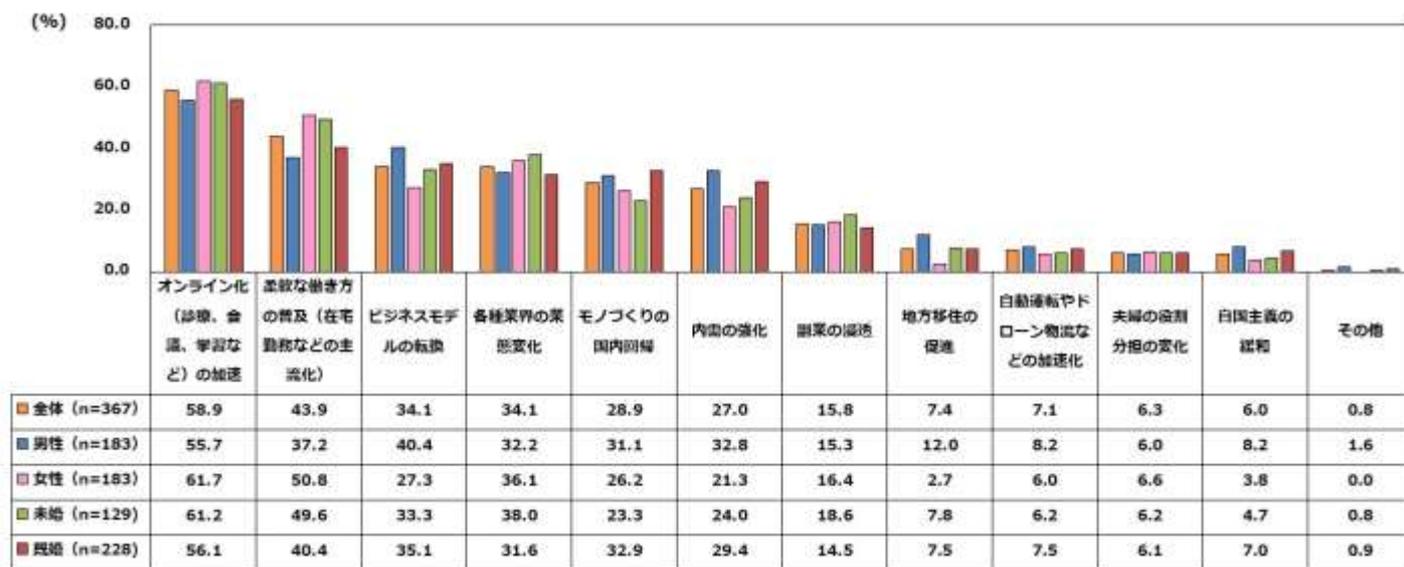
「2020年10～12月」が最も多く、次いで「2021年1～6月」。  
収束は半年から1年程かかるとみている人が多いことがうかがえる。

### ⑤新型コロナウイルスが収束したら、まずしたいこと（複数回答）



「国内旅行」が男女別・未既婚別ともに最も多く、半数以上。  
男女別では、男性は「飲み会」「スポーツ」、女性は「友人・知人と会う」「ショッピング」「映画館・美術館鑑賞」が多かった。

### ⑥新型コロナウイルス収束後、世の中や仕事の在り方がどう変わる（どう変わるべき）と思うか（複数回答）



男女別、未既婚別ともに「オンライン化（診療、会議、学習など）の加速」が最も多く、半数以上。  
男女別では、男性は「ビジネスモデルの転換」「地方移住の促進」、女性は「柔軟な働き方の普及（在宅勤務などの主流化）」が多くみられた。

#### 【まとめ】

- 外出自粛により外食や旅行の消費が減り、お小遣いを飲み代に使う人なども減っており、新型コロナウイルスによる影響が垣間見られる結果となった。
- 新型コロナウイルスの収束後したいこととして多かったのが、「国内旅行」「外食」「飲み会」。これまでの外出自粛のストレスから、旅行や外食などのサービス産業への需要が高まり、産業の回復が期待される。
- 新型コロナウイルス収束後の世の中の変化として、「オンライン化の加速」が最多。今後もオンラインによるモノやサービスの消費は増加すると思われる。「柔軟な働き方の普及」の割合も多く、働き方改革の進展が予想される。